

総合的な学習の時間と特別活動（教育実践研究 B－I）

(4 単位)

専門 > 教育学部（全入学年度対象）> 基礎理解に関する科目等

1 年、2 年、3 年、4 年 通年(前→後)

[ふくい地域創生士認定科目] 週間授業

遠藤 貴広 (endo@u-fukui.ac.jp、0776-27-8964 (2518)、総合研究棟 V（教育系 1 号館）6 階)

浦井 寿尚

加藤 正弘

隼瀬 悠里 (y-hayase@u-fukui.ac.jp、教育 1 号館 6 階、火曜日 12 時～13 時)

半原 芳子 (yoshikoh@u-fukui.ac.jp、福井大学教育学部附属義務教育学校内（2 階）、金曜日 10：00～12：00、実務経験：その他)

宮下 正史

森田 史生

柳澤 昌一 (yanagi@edu00.fedu.fukui-u.ac.jp)

山本 晃市

■ナンバリングコード

05-TTC-102 教育学部 学校教育課程 / 教職科目 教育課程の意義〔1 年次レベル〕

■授業概要

○ 生きる力を培う学習の展開とその編成について、総合的な学習の時間や特別活動で取り組まれている実践の記録の検討を通して、また同時に実際に子どもたちの協働探究活動（探求ネットワーク）を支える実践とその省察を通して実践的に学ぶ。

○ 子どもたちの長期にわたる協働探究活動（探求ネットワーク）を支える活動に実際に携わるとともに、子どもたちの学習と成長を支える視点・方法・組織について総合的な協働探究を進める。

■到達目標

- ① 総合的な学習の時間や特別活動を中心に展開される長期にわたる協働探究プロジェクト型学習の視点・方法・組織・理論について説明することができる。
- ② 総合学習や特別活動の視点を手がかりに、実際に子どもたちとの活動を企画・運営することができる。
- ③ 自分自身の実践を省察し、今後の実践の展望を明らかにすることができる。

■授業内容

本授業は、次の 3 つのアプローチを並行して進める。

アプローチ 1：総合的な学習の時間や特別活動の学習過程とカリキュラムに関わる研究

- (1) 学習指導要領解説の検討
- (2) 総合的な学習の時間や特別活動に関わる教育実践記録の検討
- (3) カリキュラム・デザインに関わる理論の検討

アプローチ 2：探求ネットワークの展開過程に関わる研修

- (1) 探求ネットワークの概要の確認
- (2) 探求ネットワーク報告書の検討
- (3) ブロックごとの活動展開の詳細な検討
- (3) 探求ネットワーク経験者への聴き取り調査
- (4) 探求ネットワーク各ブロックを新しい目で紹介するポスター・冊子の作成

アプローチ 3：探求ネットワークの活動を実際に進める

- (1) 隔週土曜日等に行われる探求ネットワークの活動を担う
- (2) 活動を振り返り、記録にまとめる

以上の取り組みを総括的に振り返り、最終報告書にまとめる

【授業計画】

第 1 回：前期オリエンテーション

第 2 回：総合的な学習の時間の趣旨

第 3 回：高校までの探究学習の経験を振り返って

第 4 回：総合的な学習の時間の目標の検討

第 5 回：探究的な学習の指導のポイント

第 6 回：年間指導計画の検討

第 7 回：聞き取り調査の計画

第 8 回：実践者への聴き取り

第 9 回：聞き取りレポートの検討

第 10 回：他チームのレポートから学ぶ

第 11 回：総合的な学習の時間における評価

第 12 回：総合的な学習の時間のカリキュラム・マネジメント

第 13 回：青少年教育の課題と関連施設の機能・役割

第 14 回：体験活動の意義と安全管理

第 15 回：課題図書を検討

第 16 回：後期オリエンテーション

第 17 回：特別活動の目標の検討

第 18 回：教育課程における総合的な学習の時間と特別活動の位置づけ

第 19 回：特別活動の内容の検討

第 20 回：学級活動・ホームルーム活動の特質

第 21 回：児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事の特質

第 22 回：特別活動の指導の在り方

第 23 回：実践記録の検討

第 24 回：組織学習のプロセスとマネジメント

第 25 回：家庭・地域住民や関係機関との連携の在り方

第 26 回：実践記録を書くことの意味

第 27 回：特別活動における評価

第 28 回：今年度の実践活動を振り返って

第 29 回：活動報告書原稿の検討

第 30 回：今後の課題の確認と発表準備

■準備学習（予習・復習）等

授業時間以外に、隔週土曜日等に行われる子どもたちとの活動（探求ネットワーク）とその準備が必要となる。

また、学期に数本のレポート課題がある。

■授業形式

見通しを立て、準備し、実際に協働して展開し、その意味を振り返り、表現し、今後の展開を考えるサイクルを重ねる。

■成績評価の方法

サイクルごとにつくるレポート、ラウンドテーブル等での発表、活動報告書によって評価を行う。

■教科書・参考書等

①a 文部科学省『小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 総合的な学習の時間編（平成 29 年 7 月）』東洋館出版社、2018 年

①b 文部科学省『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 総合的な学習の時間編（平成 29 年 7 月）』東山書房、2018 年。

①c 文部科学省『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 総合的な探究の時間編（平成 30 年 7 月）』学校図書、2019 年。

②a 文部科学省『小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 特別活動編（平成 29 年 7 月）』東洋館出版社、2018 年。

②b 文部科学省『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 特別活動編（平成 29 年 7 月）』ぎょうせい、2018 年。

②c 文部科学省『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 特別活動編（平成 30 年 7 月）』東京書籍、2019 年。

①②とも、取得希望免許校種に合わせて a/b/c の中から選択して下さい。

文科省サイトでダウンロードすることも可能です。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm

■その他注意事項等

○隔週土曜日等に行われる子どもたちとの活動とその準備も、本科目の中心的な取り組みとなる。

■キーワード

プロジェクト，協働探究，コミュニケーション，省察，実践コミュニティ

■アクティブ・ラーニング

アクティブ・ラーニング科目

■授業形態

対面・オンライン併用授業ーリアルタイム・オンデマンド（資料配布）併用型